

●山形市医師会在宅医療・介護連携ポピー 事業計画

平成30年度

(目的) 在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する

仕様書~/目標	H30年度計画	詳細	進捗
(1) 在宅医療・介護関係者の研修 /地域包括ケアと多職種連携の推進	・医療と介護の連携4つの局面を研修テーマの視点とする (下記◆)	□研修 主催 共催 □ミニ講座 □出張勉強会 □他研修枠への企画提案 ・別紙詳細計画作成予定 4月中全体計画	
(2) 相談窓口 /既存窓口の補完的役割	・職員の相談援助技術の向上 ・関係職種の参考に資する為、相談事例共有の場を設ける	□コンサルテーション、倫理関係専門書2冊購入予定 □ミニ講座への反映	
(3) 地域の医療・介護サービス 資源の把握 /地域関係職種の業務円滑化 (迅速に資源にアクセスできる)	・医療サービス情報検索システムの更新 H29年度版在宅療養支援関係機関一覧を元に更新作業	□確認作業後システム更新 確認作業5月開始 □訪問看護・薬局・施設を追加できるか検討 6月開始	
	・3市医療福祉相談窓口パンフレットの更新	□更新内容を在宅医療サービス情報検索システムに反映 □更新PDFをホームページに掲載、広報メルアドから関係機関へ送信	
	・地域で活躍している人材をHPで紹介	□医師：2名 (7、11月) □多職種3名(5月、8月、1月)	
(4) 地域住民への普及啓発 /地域包括ケアへの住民理解促進	・住民対象出張講座の企画・開催 ・住民向ハンドブックの作成(参考：私の心づもり)	4月～5月 広島県地域保健対策協議会『ACPの手引き』『私のこころづもり』参考 山形市版のテキスト・チェックシートの内容を検討。ハンドブック印刷 6月～ 山形市長寿支援課より地域包括支援センターへ発信、チラシ設置 随時依頼を受けて日程調整、ACPハンドブックを用い出張講座を行う。	
(5) 在宅医療・介護の課題抽出と 対応の協議 /入退院支援、在宅医療、精神領域 (4つの局面の中の上記に焦点化)	・入退院支援フローの普及と活用	□市が行うCMアンケート後の検討チーム運営 □病院アンケートも検討 □病院との入退院支援事例検討を行い、地域へ報告 5月病院と相談 □ホームページメニュー[入退院支援]の適時改修	
	・在宅医療 ・精神疾患を有する者への地域での支援体制の検討	□在宅医療提供体制モデル事業(市医師会)の進捗を会議やHPで報告 □医療アウトリーチや継続的支援の情報収集 □研修計画への反映	
(6) 在宅医療・介護サービス等の 情報共有の支援 /ポピーねっとやまがたの普及	・事務手続きの簡素化 ・周知・広報・設定支援の継続 ・患者や家族参加のタイムラインの展開	4月 事務書類整理・様式変更・ホームページ修正更新 5月 登録施設・登録ユーザー・記録/統計ファイル見直し 出張勉強会・説明・設定支援は引き続き継続 (患者・患者家族参加タイムラインの展開をねらった設定支援に力を入れる) 広報→登録事業者の周囲・病院関係への働きかけを中心に	
(8) その他必要な事業	・運営会議	5、7、9、11、1、3月予定	
	・連携会議等への出席	村山管内在宅医療専門部会、市情報交換会、市地域ケア調整会議 包括各種連絡会、かごねっと(役員)、緩和ケア研究会(役員)	
	・研修受講	徳田：日本看護学会精神看護7月 県看護協会研修9月、11月 鹿野：日本社会福祉士全国大会7月、県看護協会研修4月、6月、9月	
	・講師等	医療・介護連携をテーマとした依頼に対応	
	・ホームページの充実	ポピーの活動や地域の動向を知ってもらえる内容とする	
	・視察等対応	他地域からの参考情報も得ることができる	

◆医療・介護連携の4つの局面 1. 入退院支援 2. 救急時の対応 3. 日常の療養支援※ 4. 在宅看取り
 ※3. 日常の療養支援 ①緩和ケアを含むがん患者への質の高い医療と介護 ②認知症患者への質の高い医療と介護 ③精神疾患患者への医療提供や地域移行、地域生活支援
 ④外来や入院でのリハビリテーションと地域移行 ⑤口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療
 ⑥薬剤使用の適正化に係る薬剤管理業務 (中医協 H29年3月資料を参考とした)